

子どもプレーパーク事業の実施について

1. プレーパークとは

区立公園を活用し、子どもたちが自分たちのアイデアや創造力を活かし、自由に遊びをつくり出すことができる場のことで、丸太や廃材、ロープなどを利用した手作りの遊具が置かれていたり、火遊びや木工等を行うことができます。

実施にあたっては、安全確保や子どもたちの発想を引き出すために、専門スタッフ（プレーリーダー）を配置しています。

2. 実施目的

屋外での自由な遊びで得られる様々な体験・交流を通じて、子どもたちの発想力や創造力を育むとともに、自主性や社会性を育成します。

また、子どもたちの多様な居場所の提供を通して、放課後等の過ごし方の選択の幅を広げる取組とします。

3. 実施方法

公園等を利用した外遊びに関する専門的な知識や経験等を持つ、地域で活動する団体との協働としました。

[協働の相手方] NPO 法人杉並冒険あそびの会

平成 12 年 「冒険遊び場実行委員会」を設立し、区立公園で冒険遊びを実施

平成 27 年 NPO 法人化

4. 実施時期

平成 27 年 8 月～

5. 実施概要

(1) プレーパーク「杉並冒険遊び場☆のびっぴひろっぱ」の開催

- 実施場所：区立柏の宮公園（下高井戸）・井草森公園（井草）
- 開催日時：柏の宮公園 毎月第2水曜日、第3土曜日、第4日曜日
井草森公園 毎月第1日曜日
- 主な活動内容：火遊び、水遊び、泥遊び、木登り、木工のほか、季節に応じたプログラムなどを実施
- その他：傷害保険へ加入するため、受付に氏名・年齢等の記入が必要

(2) 区内他団体へのプレーリーダーの派遣等

既に和田堀公園でプレーパークを実施している「杉並ねっこワーク」へプレーリーダーを派遣するほか、実施したいと考える地域団体への支援を行う。

(3) 次世代プレーリーダーの育成

事業展開のさらなる充実を図るため、近隣大学在籍者、30歳以下の社会人などを対象とした講座を開催し、新たなプレーリーダーの育成を行う。

(4) 出前プレーパークの実施

より多くの子どもたちへ参加の機会を提供するため、小規模なプレーパークを体験できる「出前プレーパーク」を実施する。

- 実施場所：区立公園に近接した児童館、地域イベント等
- 平成27年11月以降、5回程度実施
- プレーカー（軽自動車）を導入し、資材運搬等を行う